

自己決定の大切さを伝える

松浦さんが講義

ブラストビート・ジャパン代表



講演する松浦貴昌さん=22日、西原町・琉球大学

琉球大学の学生が企画・運営し、講師を招いた講義が22日、同大で開かれた。講師は、NPOブラストビート・ジャパン代表の松浦貴昌さん。バンドに熱中したことや起業の経験を話しながら、「やりたいことはやりたい時に全力でやればかなう」と伝えた。音楽を通じた社会教育プログラ

ムブラスト・ビートとの出会いも紹介。好きなことや夢を見つけたらその気持ちを大切にし、動きだしてほしい、と語った。

ブラスト・ビートは、若者に自己実現の機会を設けようと出来上がったプログラムで、アイルランドやイギリスなどで広がっている。高校生らが「ミニ音楽会社」を作り、実際にコンサートを企画・運営することで、ビジネスの仕組みやチームワークなどを学ぶ。

松浦さんは会社を経営しながら、ブラスト・ビートを日本

琉大生が企画・運営し授業



で広める準備をしている。講義は同プログラムに興味を抱いた同大3年の花城健太さん

就職や留学など進路について考え、話し合う学生たち=22日、西原町・琉球大学

が企画し、約40人が参加した。松浦さんは、資金や人脈がない中、働きながら猛勉強して起業した経験を紹介、「やりたいことをやらない方がリスクを伴う」と語った。

学生たちは松浦さんの講話後、公務員や就職など希望する進路ごとに分かれ、それぞれの道の魅力などを話し合った。

企画した花城さんは「学生たちにどんな生き方があるかを考えてもらえるか不安だったけれど、ディスカッションできてよかった」とうれしそうに話した。